

豊洲新市場施設計画発表



**食の安全・安心を確保
にぎわい施設を併設**

東京都が、豊洲新市場建設工事施設計画の概要と、にぎわいを創出する千客万来施設事業の基本方針案を策定しました。築地市場比1.7倍の面積を持つ市場と、一般の方が買い物や食事ができ、活気やにぎわいを生み出して地域のまちづくりや活性化に貢献する集客施設が豊洲6丁目に整備されます。

▲約40.7haの広大な敷地を有し、首都圏の基幹市場として整備される豊洲新市場

東京都は、現在の築地市場（中央区）の老朽化や狭さ、近年の流通環境の変化に対応するため検討を重ねた結果、築地市場の豊洲移転を進める方針を打ち出しました。本区は、都からの協議を受け「都による土壌汚染対策の確実な実施」「交通対策の実施」「新市場と一体となったにぎわいの場の整備」「環境まちづくりへの配慮」など、新市場整備に伴う課題の対応を求めたうえで、これを了承しました。

食の安全・安心を確保する環境配慮型の首都圏基幹市場

新市場は、都民に対する生鮮食料品の安定供給を確保し、食の安全・安心を高いレベルで実現するため、温度管理ができる閉鎖型の施設とするなど、品質・衛生管理が強化されます。また、十分な駐車場の確保や加工パッケージ施設、転配センターの設置など、産地や顧客、消費者の多様なニーズの確に対応できる新たな首都圏の基幹市場として整備されます。さらに、省エネ機器の採用や太陽光発電、緑化など、環境負荷の低減が図られます。

「市場取扱量水産物2,300t/日、青果物1,300t/日」敷地約40・7ha(延べ面積約40・8万㎡)

食の魅力発信し観光客を惹きつける千客万来施設

市場本体施設に合わせて整備される敷地約1・7haの「千客万来施設」では、「食の魅力

7階建の(株)久米設計
12月20日、区は、(株)久米設計と「津波等の水害時における一



**水害時安心協定
災害時協力協定**

新市場および千客万来施設は、土壌汚染対策工事後完了後着工

工事中・開場後も関係車両の動線を配慮

発信する「観光客を惹きつける」「市場関係者の活性化に貢献する」という3機能の導入を目指しています。施設内には多様な物販店や新鮮な食材を活かした飲食店、イベントなどにより、食関連の情報を発信する施設・機能などが整備される予定です。

現在の築地に見られる市場ならではのにぎわいを継承・発展させるとともに、イベントの実施などを通して国内外から多くの来場者を集め、豊洲ならではの活気やにぎわいを生み出すことで、豊洲新市場の魅力が高めつつ、地域のまちづくりや活性化に貢献していきます。



HP 東京都中央卸売市場 <http://www.shijoumeto.kyo.jp/>

☎(3647)9168
 問 港湾臨海部対策担当

工事期間中は関係車両が生活道路に流入することがないよう、適切に車両動線を設定し、その遵守を指導します。また開場後も、広域搬入・搬出車両に対し、首都高速晴海線など臨海部方面への広域幹線道路の利用を徹底させ、豊洲駅前方面への車両の流入防止に取り組みよう適切に対応していきます。

**一時避難施設提供
帰宅困難者対策等**

株式会社 久米設計
 潮見2-1-22

時避難施設としての使用に関する安心協定「災害時協力協定」を締結しました。前者は、区内で津波等の水害が発生した場合、一時避難施設として社屋を提供いただく協定で、後者は、大地震等が発生した場合、帰宅困難者へ一時滞在場所として社屋を提供いただく協定です。また、設計会社の特性を生かし、近隣建物に対する安全確認・調査作業の提供も盛り込まれています。

☎(3647)9588
 問 防災課防災担当